



進路だより

大阪府立東淀川支援学校

令和7年9月11日

第5号

中学部3年 職業体験学習

今年度は3つの班に分かれて職業体験学習を実施しました。

6月25日(水)に、5名の生徒が大阪市キャリア教育支援センターでピッキングの体験をしました。入庫の作業から始まり、パソコンでの入力作業、出庫、検品、梱包、宛名シール貼り、発送、在庫チェック、商品の補充などたくさんの工程を学びました。また、あいさつや入室の仕方を教わり、実習中もしっかりと実践できていました。

7月3日(木)、4日(金)は校内班と企業班の実習でした。

企業班は2名の生徒がそれぞれの事業所へ出向き仕事体験をしました。商品の品出しや商品棚の整理、バックヤードでの商品の種類分けなど実際の職場での仕事などに取り組みました。実習までは初めての経験でとても緊張していましたが、実習後は「疲れた」「頑張った!」「楽しかった!」と生き生きとした表情で報告してくれました。

校内班では、さらに3つの班に分かれて実習をしました。あいさつ、報告、作業姿勢など事前学習で学んだことを意識しながら、それぞれの目標に向かって取り組みました。画用紙にマーブルング、玉ねぎの皮むき、輪ゴムの仕分け、ベルマークの仕分け、メモ帳作り、清掃、洗濯物干しなど普段とは異なる作業にじっくりと取り組むことができました。2日間の実習では普段と違う雰囲気を楽しみながらも緊張感を持って取り組むことができました。今回の職業体験学習での経験が進路や将来のことを考えるよい機会になればと思います。



夏期公開講座

7月23日(水)に地域の小中学校及び府立学校、本校教員対象に「支援学校小学部・中学部・高等部卒業後の進路」をテーマとした講座を実施し、本校教諭や進路指導主事から、各学部でのキャリア学習の取り組みや、卒業生の事例を含めた最新の情報についてお話ししました。卒業後の進路は年々多様化しており、情報を常に更新して進路指導・支援をすることが大切になります。終了後のアンケートでは「小学部段階からの積み重ねが大切であり、また大人が先回りするのではなく、いかに児童生徒に「自己決定」の練習をさせていくかが大切なのだと感じた。」「他学部での取り組みなどを知ることができ、卒業後を見据えた指導を日ごろから意識することの重要性を学んだ。」等、前向きな感想が多かったです。キャリア教育推進部は、これからも様々な情報を先生方と共有し、さらに児童生徒や保護者のみなさまへお伝えできるように努めていきます。



裏面も
ご覧ください。

高等部1年生保護者対象進路保護者説明会

7月15日(火)～17日(木)の3日間で実施しました。高等部での取り組みや高等部卒業後の進路先、家庭で協力してほしいことなどについてお話をしました。高等部に入って間もない時期でしたが、早い段階で進路について考えることが、子どもたちが安心して卒業できることにつながるという想いで実施しました。

本説明会にて紹介した、昨年度高等部卒業生保護者からのメッセージをこちらでも一部ご紹介させていただきます。

【令和6年度高等部卒業生保護者からのメッセージ】

- ・進路については、本人の意思を尊重し、よく話し合って決定しました。
- ・学校にある各事業のパンフレットや頂く冊子を参考にしたり、PTAにある事業所見学に参加してお子さんに合う事業所を見つけてあげてください。
- ・親だけか、一緒に見学に行って、良さそうと思ったら、後日、1～2時間でもいいので体験学習には行った方がいいです。見学と体験で印象が変わることがありました。3年の夏頃には、採用を検討する事業所もあったので、それまでに体験実習しておいた方が良いと思います。事業所の活動が変わることもありましたので、決める前に活動内容は再度確認した方がいいです。
- ・いろんな人に話を聞いてみたり、区役所で開催される合同説明会みたいなものに参加して、直接事業所の方に話を聞いてみたら、選択肢が増えるのではないかな。
- ・進路の先生に相談しつつ、たくさん見学してお子さんに合った所を見つけてあげてください。体験(1日)もさせてもらえる所は是非してみてください。
- ・なかなか、うちの子は重度なので子供の将来を親が決めてしまうのではと、はじめは腰が重かった。2年の夏に何か所も行き、正直疲れるが、大人目で、働いている方、事業所に通われてる方を見れて良かったです。本人も連れて行き、合う合わない、本人に対しての接し方も体験できたので連れて行った方が良かった。
- ・人にもよるけど、たくさん見に行き過ぎると、訳が分からなくなるので、程々が良いです。
- ・とにかくまずは、保護者の方のみの見学をおすすめします。そこで、ここいいかも!と思った所ではじめてお子さんを連れて見学し、お子さんも気に入ったら体験という流れがスムーズだと思います。お子さんにも、保護者の皆さんにもピッタリな事業所にめぐり会う事を祈っています。
- ・親が行かせたいと思っていても、子どもが行きたがらなかったら結果的には続かなくなるので、子どもが実際に楽しめているかどうかを見てほしいと思います。
- ・1番の決め手は、やはり本人が見学に行った時に、笑顔か笑顔じゃないかで行きたいか行きたくないかで決まります。アドバイスになってないと思いますが、頑張ってください!!

教職員進路施設見学

夏季休業期間中、本校教職員による進路施設見学を実施しました。将来の就労や生活の場についての理解を深め、生徒一人ひとりの適性や希望に沿った進路指導につなげることを目的としています。A型作業所やB型作業所、生活介護事業所、自立活動・就労移行支援事業所や、また企業などを訪問し、実際の作業内容や職場環境、支援の方法などについて担当の方から詳しいお話を伺いました。現場で活躍する先輩方の姿を見ることができ、大変参考になりました。今回得られた情報や学びを、これからの授業や進路相談に活かしていきたいと思います。

